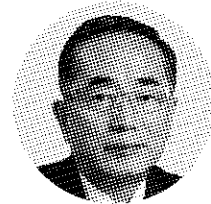


## わが本 ちが母校

### 埼玉県立浦和高等学校

プラネット社長

たまにゅう ひろまさ  
玉生 弘昌氏 (65)



浦和市(現さいたま市)に在住していたこともあって、高校は浦和高校に進学した。文武両道の男子校で、柔道、剣道は必須、水

泳は赤フンドシ。器械体操でしごかれ、年一回は50キロの強歩大会といった具合で、まあ硬派か。理数系に強い校風も特徴といえる。卒業後、防衛大学校や東京工業大学などに進学する者が結構、いたのはそのせいかもしれない。

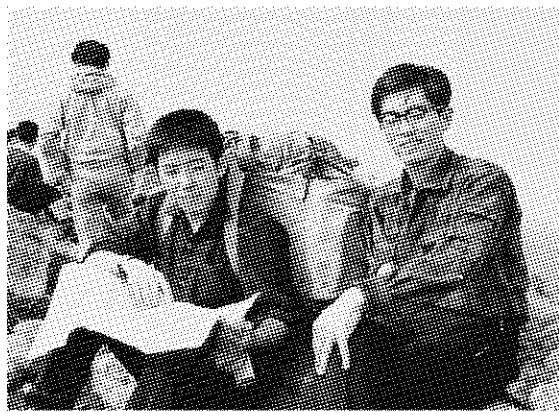
## 夏恒例の南アルプス登山

同期では石川亨君(元統合幕僚会議議長)、佐藤哲君(元陸将)らがいるし、岡本圀衛君(日本生命保険社長)、関誠夫君(千代田化工建設の前社長)らを輩出している。

在学中は、クラブ活動で山岳部に所属した。自然の中で自分を試したいといった気持ちがあったようだ。秩父の山々や雲取山を登るのが通常の部活。テントを張って、2週間かけての南

3年生の時は本隊で縦走、2週間も山にこもっている。計算や普通のことなどで、きなくなるなど、頭が変になったものだ。山岳部では、後に東急エ

1シーズンに入り、今は北海道で悠々自適の星野雅彦君が部長を務め、会田勝美君(元東京大学教授)らと苦楽をともにした。山岳部以外で親しかったのは、生徒会長を務めていた中尾萬里君(日本ライオン会長)。彼は当時、下宿していて、放課後や休日には彼のところによくラグビー部の連中が集まっていたものだ。雑談したり、マージャンをやったり、たばこ、酒、パチンコなど結構、悪いこともした。



東京・埼玉・山梨にまたがる雲取山で(山岳部の星野部長◎と本人) ▲……………アルプス縦走が夏の大イベントだった。

宇徳の前社長の中川浩之君、日本長期信用銀行からニッセイアセットマネジメント常務に転じ、現在は名古屋商科大学教授を務めている花川泰雄君とは、よく会う。登山や遊びが過ぎて勉強の方が下降線をたどってしまったのが、ちょっと悔やまれる。